



第50号
平成30年5月15日

むらかみ

市議会だより



第1回定例会

| | |
|--------------------|----------|
| 代表質問 | 2～3ページ |
| 市政を問う!! 15人が一般質問 | 4～12ページ |
| 委員会の審査報告 | 13～15ページ |
| 議決結果 | 16～18ページ |
| 議会改革調査研究特別委員会 中間報告 | 12ページ |
| 閉会中事務調査 | 19ページ |
| インタビュー | 20ページ |

市民の宝 輝く瞳

みんなが友だち

つどい場「あら、ほっ」(荒島)

あらかわ地区まちづくり協議会の活動拠点、つどい場「あら、ほっ」は旧荒島保育園を活用した施設で、地域の皆さんが交流し、楽しく過ごせる場所となっています。この日も、初夏を思わせる陽気の下、週末イベントに参加する子どもたちのにぎやかな声が響いていました。

各種事業の展開は 30年度施政方針・予算を代表質問



3月定例会において、新年度の施政方針・予算案に対する「代表質問」が行われました。新市誕生から10年が経過し、人口減少や少子高齢化が大きな課題となっている中、子育て支援、産業支援、大型事業のほか総合戦略に基づき事業拡充を図る30年度事業・予算について、各会派からの代表議員6人が質疑しました。

代表質問の質問時間はそれぞれの会派所属議員の人数によって配分され、また、質疑の原稿は質問者が作成したものを掲載しています。

新年度予算案に対する委員会審査の主な内容は、13～15ページをご覧ください。

問 23年度末には基金が約78億円、市債が約17億円とその差が一時約61億円となった。しかし、30年度末の基金は約70億円と見込まれ、30年度予算では市債が約45億円と計上され、差は半分以下に減少と

財政的考察からの行政運営



新政村上 長谷川孝議員

その効果が出ていると感じる。(質問時間 49分)

答 継続的な行政運営に基づいて市民の課題解決のため優先順位を付け施策にあたっては、基金は活用しなければ事業効果を生まない。貯められるときは貯め、緩急を付け人口減少に歯止めをかけながら将来の市の財政規模を考えた行政運営に取り組んでいる。

問 一般会計の予算が342億7千万円、前年度比3・9%増と過去最大規模になる中で、市税や地方交付税などが減額し、起債は、前年より10億6730万円増となっている。今後どのような財政計画

大型事業の方向性は



鷲ヶ巣会 大滝国吉議員

を考えているか。**答** 大型事業については、過疎債をはじめとする有利な財政支援を活用し、市民が安心して暮らせるよう、行政サービスを維持・継続していくことを基本に考えていく。**問** 今後、予想される大型事業は、どのようなものか。**答** 学校統合に伴うものや、橋・道路・公共施設の長寿命化を中心に、税収を維持していくためにも、公共事業は減らさずに経済を回す。(質問時間 54分)

を考えているか。**答** 大型事業については、過疎債をはじめとする有利な財政支援を活用し、市民が安心して暮らせるよう、行政サービスを維持・継続していくことを基本に考えていく。

新市誕生10年

代表質問(2)

就業意欲の向上へ施策を



清流会 川崎健二議員

問 人口減少、少子高齢化の視点から地域課題への対応は。

答 暮らしやすい、住みやすいをポイントとして、関係・交流人口増を念頭に、村上市が持つ豊かな食や自然等をICT化でどんどんアピールし、

地域経済が循環できる体力を作り上げていきたい。

問 高速のりあいタクシーを利用している便利だが、利用者が少ない。現状と今後は。

答 1月末現在の乗車数は794人。乗降場所を追加し、多目的利用や周知に努めたい。

問 所得の向上こそ、地域の活性化につながるかと考えるが。

答 各産業の成功体験が就業意欲につながり、地域経済全体の底上げとなる。そのため施策を進めたい。

(質問時間 45分)

既存事業の効果・検証は



高志会 尾形修平議員

問 本年度の予算編成方針では、「重点化・効率化を図り予算編成を行う」とし、要求基準については、事業の優先度やスクラップアンドビルドによる検討を十分に行い、調整した上で要求すること」とな

っていたが、既存事業の見直しを行ったのはどのようなものがあるか。

答 継続的に行ってきた事業では、中止・縮小したものは特にない。

問 村上総合病院移転新築や駅周辺整備事業、「道の駅朝日」のリニューアル事業はじめ大型事業が目白押しだが、

公債費率や将来負担比率がかなり高くなると思うが。

答 長期的な視点に基づく健全な財政計画により進める。

(質問時間 34分)

英語力を上げる手立ては



市政クラブ 小杉和也議員

問 村上市の中学生の英語力はどのよう状態か。

答 県内では高い方でない。

問 どのような取り組みをすれば英語力が上がると考えているか。

答 小手先の取り組みでは英

語力は上がらない。魅力ある授業、関心や意欲が持てる授業を学校で行ってもらおう。

問 平林集落の滝矢川は、大雨が降ると河川からあふれ出る危険性がある。どのように整備するのか。

答 越水の危険性の高い神社付近のカーブを改修する。

問 地域おこし協力隊でグリーンツーリズムコーディネーターを配置する意図は。

答 恵まれた自然、食がある村上市には重要な配置である。

(質問時間 34分)

貧困対策優先の政策を



日本共産党 竹内喜代嗣議員

問 洋上風力発電事業は、事業者が不採算のため事業化を断念したが、推進委員会を続けること。国から新たな方針が示されたか。

答 国は、一般海域においての洋上風力発電事業占用に

いて法制化を進めている。これまで3年間取り組んできた温暖化対策としての再生可能エネルギーである洋上風力発電を、これからもしっかりと研究調査していきたい。

問 アベノミクスの下で貧富の格差が拡大し、3割の世帯は貯蓄がない。私にも深刻な生活相談が寄せられている。

開発優先ではなく貧困対策最優先の市政をお願いしたいが。

答 生活を支える必要な施策を引き続き行っていく。

(質問時間 34分)

市政を問う!!

15人が
一般質問

2月23日・26日・27日の3日間の日程で行われた一般質問に15人の議員が登壇しました。

質問および答弁の要旨を質問順で掲載します。

一般質問の原稿は、質問者が作成したものを掲載しています。

一
般
質
問
(1)

1 本間善和議員 **5**

1. 森林環境税(仮称)を活用した地域振興策について
2. 空き家が及ぼす影響とその対策について
3. 国道345号沿線の自然災害について

2 佐藤重陽議員 **5**

1. 市内の商店や商店街の振興策について

3 竹内喜代嗣議員 **6**

1. 国民健康保険税の引下げについて
2. 空き家バンクに係る改修経費補助の一層の拡充について
3. 種子法廃止と日欧EPA協定の影響について
4. 学校給食の充実について

4 本間清人議員 **6**

1. 笹川流れ夕日会館のその後について
2. 除雪作業について
3. 農作物について

5 川村敏晴議員 **7**

1. (仮称)村上市スケートパークの運営方法について
2. 村上市のバイオマス発電事業に対する考え方について
3. 乾杯条例施行後の市の取組状況について

6 河村幸雄議員 **7**

1. 村上大祭の国の重要無形民俗文化財指定について
2. 学校教育と伝統・育成の連携を進める仕組みづくりについて
3. 地域経済活性化のため市内外へのアピールについて

7 平山 耕議員 **8**

1. 本市総合戦略の事業進捗状況について
2. 本市におけるコンパクトシティ化について
3. 本市の小・中学校統合後の空き学校施設の利活用について

8 鈴木いせ子議員 **8**

1. 平成30年からの米政策について
2. 火葬場の老朽化について

9 渡辺 昌議員 **9**

1. 大雪への対応について
2. 学校統合の進捗について
3. 道の駅朝日の整備計画について

10 木村貞雄議員 **9**

1. 財政関連について
2. 第7期の介護保険事業計画について
3. 児童・生徒の不登校について
4. 学校給食について

11 小田信人議員 **10**

1. 大雪・寒波による影響について
2. 好適環境水による鮭の養殖について
3. 市制10周年記念事業について

12 稲葉久美子議員 **10**

1. 寒波に伴う雪害や水道管凍結等への対応について
2. 子育て支援について
3. 地元農家後継者問題について

13 鈴木好彦議員 **11**

1. 子育て環境の充実策として、道の駅「朝日」の活用について
2. 県道小揚猿沢線道路整備促進について
3. 統合小学校の校史保存と継承について
4. 火葬場の施設管理について

14 山田 勉議員 **11**

1. ホスピスの設置について
2. インフルエンザの流行について
3. 産婦人科の設置について
4. 今回の除雪対応について
5. 平成30年産米からの農家への支援について
6. 平野歩夢選手への(仮称)村上市民名誉賞授与について

15 長谷川孝議員 **12**

1. 人口減少問題について
2. 本市の教育全般について

一般質問とは？

一般質問は、議員が市長や教育長など市当局に対し、広く市政についての報告、説明を求めらるるものです。

定例会ごとに行われ、質問順は抽選で決定しています。

※紙面の都合で質疑内容の一部を掲載しています。詳しくは、中央図書館に備え付けの会議録や市ホームページから本会議の録画中継をご覧ください。

沿線住民の切実な声を



本間善和 議員

問 国道345号は、年末の越波により陥没等で重大な通行止めが生じた。沿線住民の切実な声を市長が代表し、管理者に対して強く届けていく考えはないか。

答 沿線住民の生命や安心できる生活基盤の確保のために、今後も関係機関と一緒に地域の切実な声が国、県に届くよう、引き続き粘り強く要望する。

問 森林環境税を活用した地域振興策として、閉校となる「さんぼく北小学校」を活用し、林業の担い手不足の解消を目的に林業技術や知識を習得する研修所の開設を、林業関係者と連携して検討すべきでないか。

答 林業就業者の担い手確保および後継者対策は、重要な課題と認識している。提案の研修所の開設および運営は、県全体での対応が有効と思われることから県に要望したい。

問 空き家の及ぼす影響は地域社会の大きな問題となっており、隣接地の住民が大変苦慮している。どのような認識か。



国道345号の災害復旧工事（板貝）

答 防災、衛生、環境等の市民生活に悪影響を及ぼす極めて深刻な問題と捉えており、空き家対策は、重大な課題であると認識している。

問 利活用不能な空き家の解消を目的に、解体費に対する助成金の新設を検討する考えはないか。

答 空き家等対策計画の作成を考慮しており、その中で解体費の助成についても総合的に検討する。

店舗リフォーム事業創設を



人が行きかう町に（長野県上田市）

問 地域の過疎化が人口減少を一層加速している中、人口減少を食い止めるという観点から、また、町の賑わいを創出するという観点から、市が力を入れる商店や商店街に対する施策はあるか。

答 昨年、市内各商店会の代表者と現状と今後の取り組みについて話し合った。店舗減少、後継者難の課題や、がんばっている個店があるが商店街としては年々増す厳しさ等現状確認したものの具体的な解決策の議論に至らなかった。新年度は、現地聞き取り調査を積極的に行い、産業支援プログラムや制度融資の信用保

証料の改定に反映させ、より良い制度設計に取り組みたい。

問 既存店舗の継続や後継のため、店舗改装などへ市の独自支援策は。

答 商売継続には、店舗のリフォームだけでなく、新商品の開発やホームページ開設など、魅力ある店舗として市外へも積極的にPRしていく必要がある。商工会議所や各商工会、金融機関とも連携し、売り出す力、販路拡大を総合的に支援したい。

問 空き店舗にしてしまうと次に使うのは難しく、商売を継続中に店舗を活かしてくれる人を探すのが大事。経済活性化対策として、また空き店舗・後継者対策、起業支援として、店舗改装リフォーム事業の導入は。

答 非常に大切な視点。聞き取り調査を積極的に行い、来年度の制度設計に組み入れられるか検討したい。



佐藤重陽 議員

国保税1世帯1万円下げて

問 国民健康保険税について、国の財政支援の拡充等により一般会計からの法定外繰り入れを行い、1世帯1万円の引き下げが可能ではないか。

答 今議会提案の村上市国民健康保険条例の一部を改正する条例案では、30年度の保険税額が1世帯当たり平均で5900円程度引き下げになる見込み。なお、一般会計からの法定外繰り入れについては、国保加入者以外への負担が生じるため、繰り入れを行うことは考えていない。

問 空き家バンクに係る改修経費補助を拡充し、市外からの移住世帯に



空き家利用で若者の定住促進を



竹内喜代嗣 議員

加えて、市内在住の子育て世帯や若者の単身世帯も空き家バンク移住応援補助金の対象にする考えはないか。

答 空き家バンク移住応援補助金は、人口減少対策の一環とした、移住促進の制度である。今後も国の制度を活用しながら、総合的に検討していく。

問 種子法廃止と日欧EPA協定の影響について伺う。

答 「主要農作物種子法」は、4月廃止となるが、新潟県の対策として県議会において、「新潟県主要農産物種子条例」が提案されている。

また、国では、昨年12月にEUとのEPA交渉妥結を行っている。牛肉については、発効後、輸出について関税の即時撤廃がなされ、輸入については段階的に引き下げが行われる。輸入急増への措置も行われる。

笹川流れ夕日会館の行方は



本間清人 議員

問 笹川流れ夕日会館の現在の状況と今後の見込みは。

答 昨年4月の臨時会での議決後、5月29日付けで(有)笹川流れ夕日会館を被告とし建物明渡し請求訴訟を提訴し、7月と8月に2度口頭弁論があった。その後は、5回の弁論準備手続が開かれている。

問 今後お互いの弁護士同士の話し合いではなく、市長と(有)笹川流れ夕日会館の代表者と話し合う気はないか。

答 現在係争中の案件であり、原告側の立場でもありませんので、答弁は控えさせていただきます。

問 たとえ現在係争中と



早期解決が望まれる笹川流れ夕日会館

しても、お客さまや観光で立ち寄った方々には関係ない。市と市民の大切な財産と言っているにも関わらず、空調機器は壊れている、雨漏れはする、非常口は使えないでは、係争中に係わらず施設の修繕をするべきではないか。

答 今後、係争中と同時に、抜本的な施設の修繕等を検討したい。

問 指定管理者業務仕様書の中に、設備日常管理業務および設備定期点検保守業務とあり、消防用設備(外觀)機能点検年2回、総合点検年1回、自動ドア開閉装置年3回とあるが、実際、点検業務をしていたのか。その業務が市でしっかりとできていれば、現在壊れているところも気付くと思うが。

答 連絡はいただいている。

スケートパークの運営は



川村敏晴 議員

問 スケートパークの運営方法は。

答 指定管理の導入の準備を進めている。また国際競技に対応した施設であることから、東京オリンピック・パラリンピックを見据え、大会や合宿の誘致、施設のPRを行い、ネーミングライツや広告看板の導入も検討している。

問 村上市と関川村を拠点とするバイオマス発電事業は、森林整備の推進上、不可欠と思うが市長の考えは。

答 木質バイオマス発電は、森林環境の保全、地球温暖化防止や林地残材等の利用など森林整備には有効。森林基幹道岩船東部線の活用や31年度か

ら譲与される森林環境譲与税(仮称)の有効活用を図り、森林資源を基に地域経済と環境保全が両立する地域循環型林業実現の仕組みが必要と考えている。

問 昨年4月に施行された「村上市地酒等による乾杯を推進し村上の食文化を振興する条例」の運用状況は。

答 いわゆる「乾杯条例」は、市の外郭団体や商工業団体の寄り合いなどで、地酒等の地元産飲料を使用した乾杯が多くなっていると感ずるが、一般市民や観光客への周知については、まだ広がっていない。

「村上の食文化」は貴重な観光資源の一つでもあり、今後は、「食」とセットとした普及に取り組んでいく必要があると感じている。



今後の利活用が注目される、スケートパークの完成イメージ



伝統ある祭り 次の世代に

問 観光地として、お客様満足度向上のためにも、常設トイレの確保は。

答 トイレ整備に係る調査業務を委託し、複数の候補地を検討中。本年7月の村上大祭には間に合わないが、必要性が高いと認識している。

問 観光客も増えると考えるが、行政や市民のボランティアの動員を促す考えはないか。

答 行政としても祭礼関係団体と協議しながら取り組んでいきたい。

問 観光名所の充実のため、羽黒神社山頂の市有地の雑木の伐採や環境整備をする考えはないか。

答 現状では隣接する私有地にも雑

木があり、市街地を眺望できる状態ではないため、隣接地所有者との協議を進めていきたいと考える。

問 伝統継承、後継者育成が難しくなっている現状についての考えは。

答 後継者不足等により休止となっている行事もあり、市の文化財保存事業補助金や、文化遺産総合活用推進事業等により後継者育成活動に取り組んでいる。

問 地域文化を知る事業、カリキュラムを促進する考えはないか。

答 郷土の良さや文化に触れる学習を行っている。村上七夕祭り有志からは市に対し「お祭り教育」についての要望も出されており、意見交換されている。「村上市伝統芸能祭」開催や冊子「村上市の文化財」の刊行など見学、体験、学習できる機会を設けたい。

国指定「村上祭の屋台行事」



河村幸雄 議員

市総合戦略の進捗状況は

問 本市総合戦略の事業進捗について、政策立案に向けた各基本的視点の進捗状況は。

答 本市総合戦略は、27年度から31年度までの5年間の計画であり、「雇用を増やし活気あるまち」「人をひきつけるまち」「若者が暮らしやすいまち」「地域の連携と支え合いのまち」の4つの基本的な視点のもと、具体的には、創業支援や本市の基幹産業である農林水産業の担い手育成支援などのほか、観光プロモーションの展開などにより、交流人口の拡大に努めている。



村上総合病院移転新築に伴い整備される市道緑町松山線の工事箇所



平山 耕 議員

また、子育て支援センターの充実や保育料等の負担軽減による多子世帯応援事業、奨学金返還支援事業補助金の創設など、子育てしやすい環境づくりのための各種施策を展開している。

問 本市のコンパクトシティ化について、本年10月に新村上総合病院の建設工事が着工になるが、村上駅周辺まちづくりプランにおける駅の東西を結ぶ通路の開設が本市コンパクトシティ化の基本ではないか。

答 村上駅の東西を結ぶ連絡通路については、コンパクトシティ化の理念に基づいた安全な移動環境づくりの一端と認識している。利用できる国の補助制度や交付金などの支援状況等について、国や県と打ち合わせを行っている、関係機関への要望とともに、事業化に向け、財政状況を考慮しながら進めていく。

米政策はどうか



鈴木いせ子 議員

問 29年秋に30年度の作付面積の在り方が示され、12月に取りまとめされているが、目安数量より多く主食用米の作付けを計画した農業者はいるのか。

答 村上市農業再生協議会では、主食用目安数量として、過去の実績、集荷予定数量を基に市の全体数量を2万5千tと設定し、農業者に営農計画書を発送し、12月に取りまとめられた。目安数量より多く作付けを計画した農業者はいたが、JA等集荷業者が販売戦略を基に調整している。

問 自然災害による減収・価格低下を補てんする「収入保険」の制度とは。

答 加入申請時に青色申



遊休農地を調査する農業委員会

告実績が1年以上あれば加入できる。自然災害だけでなく、価格低下も含めた収入減少をサポートし、最大補償として、保険期間の収入が基準収入の9割を下回った場合に、下回った額の9割を補てんする制度である。

問 昨年に引き続き転作大豆をローテーションで行う集落はどのくらいか。また、実施する集落への補助体系は。

答 30年度は11集落で、作付面積は約127haの見込み。助成体系については、水田活用の直接支払交付金と産地交付金による支援が国からある。また、市の単独事業として、水田利活用推進事業補助金が昨年同様10a当たり2千円の助成を予定している。

温泉は道の駅の大きな武器



渡辺 昌 議員

問 道の駅朝日の拡充基本計画案では、新たなメイン施設前のウッドデッキ設置やその前に配置される池などについて、冬の降雪期の状況を十分に検討したか。また、年間を通して池の水の確保に課題はないか。

答 今年3月末をめどに基本計画を策定中であるが、ウッドデッキは冬期間も利用できるよう屋根を架けることを検討している。池の水については、朝日みどりの里の既存の井戸と併せて降雪期以外は消雪パイプの井戸を利用する計画である。

問 他の道の駅と差別化を図る上で温泉施設の存在は重要であり、道の駅朝日の主要施設であるま



道の駅の重要な施設として、早期の改修が必要なまほろば温泉と体験交流センター

ほろば温泉の老朽化した外観の改修や、内部のバリアフリー化を早急に進めるべきではないか。

答 拡充基本計画では、まほろば温泉の施設を長期の段階で改修を行う計画である。道の駅朝日の魅力を高める施設として欠かせない施設であるので、バリアフリー化も含め改修の優先度などを見極めながら、道の駅全体の整備計画の中で検討していきたい。

問 以前から、体験交流センターとの利便性を考え、まほろば温泉の建物と渡り廊下などでつなげてほしいとの要望があるが。

答 つなげられるよう努力したい。ただ、どちらの施設も屋根や外壁の老朽化が見られるため、全体の整備計画の中で考えたい。

早急な認知症予防を

問 第2次村上市総合計画においても、認知症対策の推進や7期の介護保険事業計画でもグループホームの建設が予定されている。

答 認知症の低年齢化等も考え、今後は認知症になる前に予防対策として本格的に取り組んでいただきたいと思うが、今実施している地域の茶の間等を見直しながら、また総合地域スポーツクラブ等と連携しながら早急に取り組んでみてはいかがか。

答 認知症の早期からの予防対策としては、生活習慣病の予防が重要であり、自ら健康管理を行えるよう、健康づくりを推進している。



期待される認知症予防教室 (新潟リハビリテーション大学の先生による指導)



木村貞雄 議員

また認知症予防対策としては、転倒予防教室や元気クラブ等の介護予防事業について、各地区のスポーツクラブと連携しながら事業を展開している。

問 総合地域スポーツクラブさらに、認知症予防を重点とした取り組みを依頼したら、認知症予防に関する教室を新潟リハビリテーション大学の先生に協力を得て実施して利用者の送迎の問題であるとのこと、その点をクリアできるようなお願いしたいかがか。

答 それを目的として総合地域スポーツクラブに車両を配置している。

問 認知症予防で一番重要なのは実施している方と担当課との連携ではないか。

答 十分な連携をしていきたい。

大雪・寒波への対応は



暗い時間帯での除雪作業

問 2月6日に災害警戒本部を設置したが、設置には基準はあるのか。

答 特に明確な設置基準がなく、18年の豪雪で旧朝日村で設置されて以降、初めてである。このたびの豪雪対応を踏まえ、地域防災計画を見直し、充実を図っていく。

問 本庁駐車場の除雪体制が悪いように思うが。

答 市役所駐車場の除雪を業者委託により実施しているが、豪雪により道路除雪を最優先で実施していることから、来庁者の皆さまにはご不便をおかけしたと痛感している。



小田信人 議員

問 今後、除雪費はどのくらいになると見込んでいるか。

答 県内の多くの自治体で、除雪関連費用が過去最高となる見込みであると報道されており、7億6800万円を補正計上したが不足が見込まれる。

問 町内・集落単位で行う除排雪を補助する「除排雪自主活動補助事業」を積極的に取り組む考えはないか。

答 新年度予算で90万円を計上している。不足が出た場合、補正で対応したいと考えている。

問 水道水の不足とならないように貯水池を連絡管で接続し、融通し合える体制は考えられないか。

答 水道施設は、合併前の市町村の区域ごとに整備されており、区域を越えて水道管を接続することは、災害時のバックアップに有効な方法であり検討したい。

子育て支援 さらに充実を



稲葉久美子 議員

問 妊婦健診の助成券14回分は交付されるが、妊婦の治療の医療費負担の助成は。

答 妊婦健診の助成を行い、必要に応じて保健師の保健指導等も実施している。妊婦の医療費助成についてはその健康と福祉の向上を図るため、調査・研究を行っている。

問 助成制度の実施に向け検討していきたい。

答 生まれたばかりの子どもは、国民健康保険税の均等割賦課を免除できないか。

答 他の被保険者に負担をかけるため、現段階では難しい。なお国保制度改正に際して県に要望していく。



妊婦健診の助成券「妊婦一般健康診査受診票」

問 保育料の無料化を、すべての子どもたちにできないか。

答 国で幼児教育・保育の無償化について検討しているところなので、国の動向を注視し、保育料のみならず、子育て世代への効果的な支援、施策を検討し取り組んでいく。

問 就学援助制度について、29年度と変更になったことは何か。

答 新入学児童生徒学用品費の支給が入学前に受給できるようになった。額も小学校2万4700円から4万6000円に、中学校は2万3550円から4万7400円に増額になった。

問 給食の材料などの栽培で一定の収入を得ることで、農家の後継者育成に取り組んでほしいが。

答 今後も地場産の食材使用の拡大に向けて取り組みを進めていく。

子育て支援を盛り込む道の駅



鈴木好彦 議員

問 子育て環境の充実策としての道の駅「朝日」の活用策について、市内の子育て世代や高齢者が集い楽しく快適に過ごせる施設になるよう取り組んではどうか。

答 道の駅「朝日」の拡充は、道の駅「朝日」拡充基本計画策定検討会および高速道路開通準備プロジェクト会議の協議を踏まえ、3月末を目途に基本計画を策定中である。基本計画には、多くの方々が利用できる空間の整備や子どもたちが安心して遊べる遊具等も含まれており、「子育て世代はもちろん高齢者も集い楽しく過ごせる場」としての機能は兼ね備えていると考える。



幼児も安心して遊べる水場のイメージ

30年度には、道の駅「朝日」拡充基本計画に引き続き、道の駅「朝日」基本計画策定業務を実施する予定である。「まほろば温泉」など既存施設も活用しながら、市内外の子どもから高齢者まで、すべての世代の方々が楽しく快適に過ごせる魅力ある施設の実現を考えている。

問 雨天時の利用など屋根付多目的広場の効率的運用のためにも、子育て世代を対象とした有効な活用策に取り組んではどうか。

答 計画段階から取り組んでいきたいと思います。

問 県道小揚猿沢線の整備促進に積極的に取り組む考えは。

答 県では、未改良区間の一部で調査、測量等を実施し改良を計画している。引き続き強く要望したい。

平野選手へ市民名誉賞を

問 余命告知された方の心身の苦しみを緩和するための療養所や病院であるホスピスを、本市内に設置する考えは。

答 村上総合病院の移転新築事業において緩和ケアを行う専門病床を地域包括ケア病棟に設置が計画されている。身体的・精神的苦痛を和らげる緩和ケアは、地域医療にとって大切な領域であり、充実に努めたい。

問 インフルエンザの今季の流行について、市内小・中学校で学級閉鎖や学校閉鎖が見られるが、状況は。



日本で最初の独立型ホスピス緩和ケア病棟 (日野原記念ピースハウス病院、神奈川県中井町)



山田 勉 議員

答 1月15日からの1カ月間で、小学校1・3・6学級中40学級で閉鎖、中学校44学級中3学級で閉鎖、また学校閉鎖は小学校で1校だった。

問 今回の除雪対応については、国土交通省、村上地域振興局とはどのように連携して対応したか。

答 国、県、関川村、NEXCO東日本、警察および本市により組織される村上圏域冬季道路交通確保連絡会議により情報本部が設置され、早期に情報共有を図った。今後国・県と連携を密にし、交通確保に努めたい。

問 平野歩夢選手が、ソチ冬季五輪大会に引き続き銀メダルに輝いた。村上市民名誉賞を贈呈する考えは。

答 「市民栄誉賞」など表彰制度の創設に向け具体的な検討を進める。

教員の勤務状況の改革を

問 村上市総合教育会議や村上市教育委員会定例会等を通して、市内小・中学校の諸問題について協議されているが、市内小・中学校教員の長時間労働の現状を伺う。

答 新潟県教育委員会が実施している「勤務時間以外で在籍している時間が月60時間を超える教職員数」の調査では、昨年7月から今年1月までの市内小学校教職員の延べ人数で195人、月平均約28人、市内中学校教職員の延べ人数では354人、月平均約51人となっている。長時間労働の要因の調査は行っていない。



中学生の部活動



長谷川孝 議員

が、校務全般の事務や生徒指導上の問題、保護者対応等は、小・中学校に共通する要因と考える。また、中学校において部活動に関わる指導が大きな要因となっている。

問 中学校では部活動の指導が大きい要因とのことだが、その解決策の一つとして外部指導員の活用状況を伺う。

答 国が学校教育法施行規則で定める部活動指導員は、部活動の指導、大会への引率等を行うことを職務としているが、各自治体で規定を整備する必要がある。村上市中学校部活動外部指導者派遣事業としては、運動部活動に対し、技術指導等について顧問教員の協力者として地域の人材を活用した外部指導者の派遣を行っており、28年度は6中学校、22部活動に29人派遣している。

議会改革の検討を継続

— 議会改革調査研究特別委員会 中間報告 —

議会改革調査研究特別委員会は、合併10年を迎える村上市議会として、議会基本条例を基に議会改革等について調査、研究することを目的として、28年9月議会で設置されました。

これまで委員会を13回開催し、議会基本条例の規定に沿って同条例の内容の見直しを含めて、現状と比較検討し取り組んできました。

3月16日、3月議会閉会後に全員協議会が開催され、議会改革調査研究特別委員会の平山耕委員長から、議会改革に係る検討の進捗状況について中間報告がありました。主な内容は次のとおりです。

【正副議長の体制】

- ・正副議長の登庁については、事務局と連絡を密にし、できる限り登庁する体制とする。
- ・議長の会派および常任委員会への所属等については、議長の検討により対応することとする。

【議員の身分】

- ・倫理条例の制定を検討する。
- ・議員定数と議員報酬の検討については、公認会計士、司法書士等学識経験者による外部の専門的知見

をお持ちの方に検討をお願いする。

【政務活動費】

- ・領収書のホームページ掲載は検討事項とし、現在実施している内部審査を議会基本条例に明記する。
- ・透明性の確保については、市民は誰でも収支報告書を議会事務局窓口で閲覧できることを周知する。

本年1月に開催した第12回の委員会では、議員報酬と定数の考え方について議員全員の共通認識を図るため、新潟県立大学田口一博准教授からご講演をいただきました。

さらに、2月に開催した第13回の委員会では、講演内容を踏まえ、未来のあるべき村上市議会としての議員定数と議員報酬を、外部や市民の意見も取り入れて検討する旨の方針が確認されました。その上で、当初の予定では検討期間を本年3月までとしましたが、1年間延長し、議員定数と議員報酬についての検討を速やかに進めることとしました。

市議会では、議会改革に関する意見を募集しています。市民の皆さまの率直なご意見をお待ちしています。

委員会の審査報告

◎は委員長
○は副委員長

※委員会の審査報告は、本会議での委員長報告に基づいて、広報特別委員会で作成したものを掲載しています。

総務文教常任 委員会所管分

◎鈴木いせ子 ○鈴木 好彦
小杉 武仁 木村 貞雄
稲葉久美子 大滝 国吉
三田 敏秋 佐藤 重陽
河村 幸雄

◆村上市過疎地域自立促進計画の変更について

問 本市の財政規模での過疎債限度額の目安は。

答 限度額はなく、全国の要望に応じて変動していきます。本市の場合、20億円程度が目安と思われれます。

◆荒川地区公民館（建築本体）工事の工事請負契約の締結について

問 施設のイメージは。
答 基本構造は鉄骨で、現在の荒川地区公民館を若干縮小した形になります。

30年度 一般会計予算

〔歳入〕

・使用料及び手数料

問 市総合文化会館の運営について、利用活性化の取り組みが足りないのでは。
答 利用者減の傾向にはあり

荒川地区公民館いよいよ着工



荒川地区公民館の完成イメージ図

ますが、減免団体の利用も多
い中、社会教育施設の特性上
民間へのアプローチも難しく、

県から情報を得るなどして運
営努力をしていきます。

問 郷土資料館、若林家住宅
の入館者増への対策は。

答 観光客が入館料無料の施
設に流れているなどの原因か
ら、入館者は近年減少傾向に
あり、運営委員会で検証を進
めていきます。

・県支出金

問 電源立地地域対策交付金
は、保育園の件費に充てら
れていましたが、ダム周辺の
事業に充てられませんか。

運営費に充てる計画です。

・繰入金

問 基金繰入れが前年度より
約10億円増え、今年度約20億
円。市債も伸びていますが、
基金運用の考え方は。

答 入ってくる財源が少ない
ので、投資的経費が伸びるこ
れから2、3年は基金を活用
したいと思います。

・市債

問 32年まで大きな投資があ
りますが、市債償還のピーク
は。

答 4年後くらいがピークと
想定しています。

〔歳出〕

・総務費

問 集落支援員導入の狙いは。
答 現状や課題を調べ、集落
に応じた活性化対策、課題の
解決策を講じるものです。モ
デル地区に荒川地区と神林地
区を予定しています。

・教育費

問 学校図書館司書の配置先
は。また、増員の計画は。
答 30年度は新たに瀬波小学

校に配置し、1週間のうち2
日は山辺里小学校に行ってい
ただく予定です。29年度から
5力年で、年1人ずつ増員す
る計画です。

問 学校活用調査業務委託
とは。

答 閉校となる8校のうち神
納東小学校は方向性が、上海
府小学校はアイデアが出され
ている状況ですが、他の数校
の活用に対する具体的提案
のための調査委託です。

◆定住自立圏形成協定の変更
1件

◆条例改正 7件

◆市有財産の譲与 4件

29年度 一般会計補正予算

29年度 特別会計補正予算

◆土地取得特別会計

◆情報通信事業特別会計

30年度 特別会計予算

◆土地取得特別会計

◆情報通信事業特別会計

以上を中心に審査しました。

市民厚生常任 委員会所管分

◎尾形 修平 ○渡辺 昌
板垣 一徳 板垣千代子
小林 重平 山田 勉
竹内喜代嗣 長合川 孝
小杉 和也

29年度 一般会計補正予算

【歳出】

・民生費

問 DV(ドメスティックバ
イオレンス)や児童虐待など
の相談について、どのように
対応していますか。

答 福祉課内の家庭児童相談
室の家庭相談員が対応してい
ます。DVについての相談件
数は28年度13件、29年度は12
月末までに8件、児童虐待に
ついては28年度87件、29年度
は12月末までに94件ありまし
た。

30年度 一般会計予算

【歳入】

・市税

問 固定資産税の評価額につ

いての見直しがあったのこ
とですが、詳細は。

答 評価替えは3年ごとに
行っており、今回は30年1月1
日現在で見直ししました。宅地
や田畑など地目ごとに標準地
の選定と評価を行い、それに
基づき同じような条件の所の
評価額を見直ししました。

問 市の予算規模が大きくな
っていく一方、市税による歳
入が減少しています。今後の
市税の見込みは。

答 個人市民税は昨年度から
2%ほど増えています。所得

市税が減少 今後の見込みは

の増加や、高齢者や女性など
で働く方が多くなっている傾
向があります。法人市民税は
16%ほど減少しており、原因
は個別に調べないと分かりま
せんが、景気動向等により変
動するものと考えます。軽自
動車税は、今後新税率の車が
増えていくと思われる、徐々に
増加すると見込まれます。

【歳出】

・民生費

問 役員のなり手がいないこ

となどから老人クラブが減少
していますが、現在の老人ク
ラブ数と今後の市の対応は。



高齢者の健康づくりのため、老人クラブが開いたノルディックウォーキングの講習会

畜舎を予定しています。年2
回と年3回の畜舎を定めて臭
気測定検査を実施し、その結
果により、基準を超えていた
場合には事業所に改善するよ
う文書等で指導・勧告してい
ます。

問 医学生修学資金貸与制度
への応募の状況は。

答 募集期限の今年2月末ま
でに応募がなかったため2週
間ほど期間を延長したとこ
ろ、応募したい旨の連絡が1
人ありました。

30年度 特別会計予算

◆介護保険特別会計

問 本市の現在の高齢化率と
今後の予測は。

答 現在の高齢者数は約2万
2600人で、高齢化率は約
37%。37年には人口約5万4
千人となり、うち高齢者数は
約2万1600人、高齢化率
は約40%と推計しています。

問 30年度から介護保険料が
上がりますが、今後の保険料

はどう推移していきますか。
答 介護保険料は3年ごとに
改定されます。31年度をピー
クにその後は高齢者数が減少
しますので、一人当たりの負
担が増え、保険料は今後も上
がっていくと考えます。

◆請願 1件

◆条例制定 2件

◆条例改正 10件

29年度 特別会計補正予算

◆国民健康保険特別会計

◆後期高齢者医療特別会計

◆介護保険特別会計

30年度 特別会計予算

◆国民健康保険特別会計

◆後期高齢者医療特別会計

以上を中心に審査しました。

経済建設常任 委員会所管分

◎川崎 健二 ○小田 信人
川村 敏晴 本間 善和
平山 耕 本間 清人
大滝 久志

29年度一般会計補正予算

【歳出】

・農林水産業費

問 就農支援事業補助金について、この制度の詳細は。

答 県普及指導センターとJAと共に相談に応じています。国補助は150万円ですが、国補助の対象外となった場合としての市補助100万円の制度です。

・土木費

問 下水道へのつなぎ込みは、町屋造りや高齢者の家では高額な経費がかかりますが、根本的な対策は。

答 住宅リフォーム補助の活用などでつなぎ込みをお願いしている現状にあります。新年度から計画する雨水管理

総合計画と併せて対応を検討しています。

30年度一般会計予算

【歳入】

・県支出金

問 多面的機能支払交付金について、5年間ごとの計画書作成や事務仕事ができる人材の不足が問題になってきたと聞きますが、今後の対策は。

答 高齢化により人材確保が難しくなってきたと聞いています。集落や農業基盤の保全が第一条件であり、十分に意見を聞いて対応したいと思います。

市内産業の活性化へ支援は

問 臭気対策について、経営者側から見ると設備投資の資金繰りが容易でないと思えます。改善のための協体制度は。

答 昨年、環境課と連携し、豚舎については経費の少ない水のミスト散布方式を行い、効果が実証されました。この事例を畜産関係者の方に紹介することで、臭気対策の協力をお願いしていくこととして

います。なお、鶏舎については、コンポストを推奨する指導を考えています。

【歳出】

・農林水産業費

問 漁港漂着物処理業務委託料について、冬場の漂着物を3月から4月にかけての春先に処理してほしいが。

答 操業と合わせて連携を取り、対応したいと思えます。

問 新潟空港二次交通確保事業

業補助金の内容は。

答 新潟空港の格安航空会社ピーチの就航に伴い、瀬波温泉旅館協同組合が新潟空港から瀬波温泉まで走らせるバスへの補助です。県の補助金も申請中であり、現在のところ4月1日から運行を予定しており、料金は2000円です。

問 あらかわゴルフ場の指定管理料約2000万円を計上していますが、利用料の把握等指定管理料の積算内容は。

答 指定管理料の積算の際に過去の実績を含め、ゴルフ場

利用料3600万円、レストラン売上1140万円、売店



冬期間に打ち上げられた漂着物（脇川漁港）

◆下水道事業特別会計

問 改築更新に特殊な工法を用いているとのことですが、市内業者の請負の状況は。

答 特殊部分は電気機械等となり、日本下水道事業団に設計等委託しています。同事業団が行う入札で市内の業者が落札しています。

- ◆市道路線の認定 1件
- ◆市道路線の変更 1件
- ◆市道路線の廃止 1件
- ◆条例改正 5件

29年度特別会計等補正予算

- ◆蒲萄スキー場特別会計
- ◆下水道事業特別会計
- ◆集落排水事業特別会計
- ◆簡易水道事業特別会計
- ◆上水道事業会計

30年度特別会計等予算

- ◆集落排水事業特別会計
- ◆簡易水道事業特別会計
- ◆上水道事業会計

以上を中心に審査しました。

◆蒲萄スキー場特別会計
問 グレन्द草刈業務委託料が前年度の倍で計上されていますが。
答 これまでは、朝日地区の猟友会で奉仕的な料金で作業してもらっていましたが、高齢化により作業困難となってきたため、業者からの見積もりにより計上したためです。

平成30年 第1回定例会 議決結果

第1回定例会 議決結果(1)

平成30年第1回定例会が、2月20日から3月16日までの22日間の会期で開催され、市長側提案65件、議会側提案の請願1件、議員発議1件を議決し、閉会しました。

議案審議結果

| 議案番号 | 事 件 名 | 結果 | 表決 | 議案番号 | 事 件 名 | 結果 | 表決 |
|---------|---|------|-------------|-------|---|------|------|
| 請願第1号 | 生活保護基準引き下げを中止し、低所得者支援の抜本的拡充を求める請願書 | 不採択 | 賛成少数 | 議第36号 | 村上市空き家等対策計画策定委員会設置条例制定について | 原案可決 | 全会一致 |
| 議員発議第1号 | 村上市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 全会一致 | 議第37号 | 村上市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 賛成多数 |
| 議第5号 | 村上市教育委員会委員の任命について(板垣 英樹：新任) | 原案同意 | 全会一致(無記名投票) | 議第38号 | 村上市手数料条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第6号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(稲葉 真知子：再任) | 原案同意 | 全会一致 | 議第39号 | 村上市国民健康保険給付等準備基金条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第7号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(渡邊 正士：新任) | 原案同意 | 全会一致 | 議第40号 | 村上市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第8号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(板垣 和伸：新任) | 原案同意 | 全会一致 | 議第41号 | 村上市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第9号 | 専決処分の承認を求めることについて(専第2号平成29年度村上市一般会計補正予算(第7号)) | 原案承認 | 全会一致 | 議第42号 | 村上市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第10号 | 平成30年度村上市一般会計予算 | 原案可決 | 賛成多数 | 議第43号 | 村上市介護保険条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 賛成多数 |
| 議第11号 | 平成30年度村上市土地取得特別会計予算 | 原案可決 | 全会一致 | 議第44号 | 村上市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第12号 | 平成30年度村上市情報通信事業特別会計予算 | 原案可決 | 全会一致 | 議第45号 | 村上市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第13号 | 平成30年度村上市蒲萄スキーマ場特別会計予算 | 原案可決 | 全会一致 | 議第46号 | 村上市民の命の大切さと心の絆を深める条例及び村上市民の命の大切さと心の絆を深める自殺予防対策検討委員会条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第14号 | 平成30年度村上市国民健康保険特別会計予算 | 原案可決 | 賛成多数 | 議第47号 | 市道路線の認定について | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第15号 | 平成30年度村上市後期高齢者医療特別会計予算 | 原案可決 | 賛成多数 | 議第48号 | 市道路線の変更について | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第16号 | 平成30年度村上市介護保険特別会計予算 | 原案可決 | 賛成多数 | 議第49号 | 市道路線の廃止について | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第17号 | 平成30年度村上市下水道事業特別会計予算 | 原案可決 | 賛成多数 | 議第50号 | 村上市火入れに関する条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第18号 | 平成30年度村上市集落排水事業特別会計予算 | 原案可決 | 賛成多数 | 議第51号 | 村上市都市公園条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第19号 | 平成30年度村上市簡易水道事業特別会計予算 | 原案可決 | 賛成多数 | 議第52号 | 村上市道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第20号 | 平成30年度村上市上水道事業会計予算 | 原案可決 | 賛成多数 | 議第53号 | 村上市上水道条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第21号 | 村上市過疎地域自立促進計画の変更について | 原案可決 | 全会一致 | 議第54号 | 村上市簡易水道条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第22号 | 関川村との定住自立圏形成協定の変更締結について | 原案可決 | 全会一致 | 議第55号 | 平成29年度村上市一般会計補正予算(第8号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第23号 | 村上市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 全会一致 | 議第56号 | 平成29年度村上市土地取得特別会計補正予算(第2号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第24号 | 村上市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 賛成多数 | 議第57号 | 平成29年度村上市情報通信事業特別会計補正予算(第3号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第25号 | 村上市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 全会一致 | 議第58号 | 平成29年度村上市蒲萄スキーマ場特別会計補正予算(第3号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第26号 | 村上市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 賛成多数 | 議第59号 | 平成29年度村上市国民健康保険特別会計補正予算(第3号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第27号 | 村上市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 全会一致 | 議第60号 | 平成29年度村上市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第28号 | 村上市集落集会所施設条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 全会一致 | 議第61号 | 平成29年度村上市介護保険特別会計補正予算(第4号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第29号 | 村上市消防手数料条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | 全会一致 | 議第62号 | 平成29年度村上市下水道事業特別会計補正予算(第4号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第30号 | 荒川地区公民館建設(建築本体)工事の工事請負契約の締結について | 原案可決 | 全会一致 | 議第63号 | 平成29年度村上市集落排水事業特別会計補正予算(第3号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第31号 | 市有財産の譲与について(北田中集落開発センター) | 原案可決 | 全会一致 | 議第64号 | 平成29年度村上市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第32号 | 市有財産の譲与について(北黒川集落開発センター) | 原案可決 | 全会一致 | 議第65号 | 平成29年度村上市上水道事業会計補正予算(第3号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第33号 | 市有財産の譲与について(下大鳥ふれあいセンター) | 原案可決 | 全会一致 | 議第66号 | 村上市市民栄誉表彰条例制定について | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第34号 | 市有財産の譲与について(荃太集落センター) | 原案可決 | 全会一致 | 議第67号 | 平成29年度村上市一般会計補正予算(第9号) | 原案可決 | 全会一致 |
| 議第35号 | 村上市指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例制定について | 原案可決 | 全会一致 | | | | |

各議員の賛否

議案審議結果のうち、賛否が分かれた等の網掛けの議案について、議員の賛否を公表します。

◎：会派の代表者 *：会派の経理責任者

| 議案番号 | 鷺ヶ巣会 | | | | | | | 新政村上 | | | | | 清流会 | | | | 市政クラブ | | 高志会 | | 日本共産党 | | 板垣千代子 | 賛否結果 | | |
|-------|-------|------|------|------|-------|------|------|-------|-------|------|-----|------|------|-------|------|--------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|----|
| | ◎板垣一徳 | *渡辺昌 | 大滝国吉 | 小田信人 | 鈴木いせ子 | 本間善和 | 河村幸雄 | ◎長谷川孝 | *大滝久志 | 佐藤重陽 | 山田勉 | 木村貞雄 | 本間清人 | ◎川崎健二 | *平山耕 | ※1三田敏秋 | 小林重平 | 鈴木好彦 | ◎川村敏晴 | *小杉和也 | ◎尾形修平 | *小杉武仁 | | ◎竹内喜代嗣 | *稲葉久美子 | 賛成 |
| 請願第1号 | × | × | × | × | × | × | ○ | ※2 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | - | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | × | 7 | 16 |
| 議第10号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 21 | 2 |
| 議第14号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 21 | 2 |
| 議第15号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 21 | 2 |
| 議第16号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 21 | 2 |
| 議第17号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 21 | 2 |
| 議第18号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 21 | 2 |
| 議第19号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 21 | 2 |
| 議第20号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 21 | 2 |
| 議第24号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 21 | 2 |
| 議第26号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 21 | 2 |
| 議第37号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 22 | 1 |
| 議第43号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 21 | 2 |

※1 議長は地方自治法第116条の規定により表決に参加しません。

※2 欠席したため表決に参加しませんでした。

請願の審議結果

| 件名 | 請願者 | 紹介議員 | 付託委員会 | 審議結果 |
|------------------------------------|-------------------------|----------------|---------------|------|
| 生活保護基準引き下げを中止し、低所得者支援の抜本的拡充を求める請願書 | 村上生活と健康を守る会 会長 斎藤 正直 | 本間 清人 稲葉久美子 | 市民厚生 常任委員会 | 不採択 |

※請願は本会議で採決が行われ、全会一致または賛成多数の場合、採択されます。

人権擁護委員が決まりました

次の方が議会で同意されました。
(任期：30年7月1日～33年9月30日)



いなば まちこ
稲葉 眞知子 氏
(村上地区・再任)



わたなべ まさし
渡邊 正士 氏
(村上地区・新任)



いたがき かずのぶ
板垣 和伸 氏
(村上地区・新任)

教育委員会委員が決まりました

次の方が議会で同意されました。
(任期：30年5月21日～34年5月20日)



いたがき ひでし
板垣 英樹 氏(新任)

可決 議第10号 平成30年度村上市一般会計予算

この議案は、30年度一般会計の当初予算（案）です。予算規模は342億7000万円で、大型建設事業、防災対策、人口減少対策、産業振興策、保育園や小・中学校の統廃合等への対応として、29年度と比較して3.9%、12億9000万円の増となり、過去最大の予算規模です。本議案は次の討論の後、賛成多数により可決されました。

反対討論 竹内喜代嗣議員

アベノミクスで大株主上位300人の資産が2.7倍に増えた一方、総世帯の3割の1,748万世帯が金融資産を持たないという異常な状況です。何十兆円という桁違いの金融緩和がされる一方、わずかな資金が足りずに倒産に追い込まれる中小零細企業もあります。この状況は、来年65歳以上の人口が4割を超える本市に深刻な影を落としていると考えます。市民生活を優先し、就学援助の29年度基準の継続を望むことから、反対します。

賛成討論 小林重平議員

人口減少問題を最重要課題とする予算編成です。村上で育ち、学び、働き、生活できるまちづくりが重要であり、医療功労賞を受賞した群馬県川場村の保健師のように、市は、市民の生活をしっかりと支えてくれていることに感謝しています。限られた税収等の中、必要な事業を取捨選択し、時には市民に我慢してもらうこともあると思います。パーフェクトではないかもしれませんが、ベストな予算編成であると思い、賛成します。

可決 議第14号 平成30年度村上市国民健康保険特別会計予算

この議案は、30年度国民健康保険特別会計の当初予算（案）です。予算総額は60億8400万円で、30年度の国保制度改革による県単位化に伴い財政運営の仕組みが変わることが要因となり、29年度と比較してマイナス20.7%、15億8400万円の減となりました。本議案は次の討論の後、賛成多数により可決されました。

反対討論 竹内喜代嗣議員

市民から寄せられている「これ以上の国民健康保険税の負担増では生きていけない」という切実な声に応え、引き続き引き下げの努力を行っていただきたい。また、税の滞納者を単純に新潟県地方税徴収機構に滞納整理の処理を依頼するのではなく、ていねいに納税相談に乗る仕組み作りをお願いしたい。最後に、滞納による資格証明書の発行については10割負担で受診できないため柔軟に対応していただきたいと考えるため、反対します。

賛成討論 小林重平議員

国民健康保険制度は30年度から県が運営しますが、実務は今までどおり本市が行います。国保税を払いたくても高くて払えない等の声を聞きますが、国保税を納めていても医者のお世話になったことがないという人もいます。互いに支え、支えられて運営されている制度であり、県や市一般会計からも繰り入れ運営されています。新年度の国保税は、1世帯当たり5,981円の負担軽減に取り組みます。しっかりした運営を願い、賛成します。

市議会では、定例会の会期が終了すると各常任委員会に分かれ、行政課題など各所管事項について調査しています。

市政をチェック!

閉会中事務調査

閉会中事務調査



学校統合により有効活用校舎となる西神納小学校の準備状況について視察しました。
32年度の統合に向け、現在の7学級から12学級になることから大規模改修が必要となります。このため、30年度は改修工事実施設計委託を行い、31年度は大規模改修工事を行う計画であるとのことでした。
また、統合に向けた児童の交流としては、神林地区の水泳や陸上の大会が行われており、着実に準備が進められている状況が確認できました。

総務文教常任委員会
統合に向けた準備着々と



当委員会では以前に実施した村上岩船福祉会や村上市社会福祉協議会の施設運営の調査を踏まえ、所管する介護高齢課・福祉課と、各施設の建物や設備の老朽化の問題などをはじめ、介護や福祉施設の現状、運営上の課題等について意見交換を行いました。
担当課でも現状を認識し取り組んではいますが、少子化や超高齢化の進行に対し、介護や福祉の充実へさらに積極的にでき細かい施策の必要性を強く感じました。

市民厚生常任委員会
福祉・介護の現状を調査



昨年10月、岡山理科大学で、海水を使わずに海水魚を養殖できる「好適環境水」による陸上養殖について視察し、議員一同、大変衝撃を受けました。その研究に取り組む山本准教授を講師に迎え、議員のほか市長、担当課、漁業関係者の皆さんにも参加いただき、共通理解を深めました。
空き校舎の利活用や山村地域における起業など、本市の産業の活性化への一助となるよう、議会としても研究していきたいと考えています。

経済建設常任委員会
「好適環境水」で活性化を

| 委員会 | 調査日 | 調査事項 |
|-----------|--------|---------------------------------|
| 総務文教常任委員会 | 1月31日 | 統合により受け入れることになる学校（西神納小学校）の準備状況 |
| 市民厚生常任委員会 | 2月7日 | 市の今後の福祉関係施設の在り方について |
| 経済建設常任委員会 | 12月22日 | 消費税の軽減税率制度について（消費税の軽減税率制度研修会） |
| | 1月30日 | 好適環境水を利用した陸上養殖の取組について（好適環境水研修会） |



広報特別委員会委員が
おじゃましました！



皆さんと一緒に健康づくり

ほんま 本間 ゆうすけ 友輔さん (上片町)

朝日地区の総合型地域スポーツクラブ「愛ランドあさひ」の職員となって3年目となります。

実家は新潟市ですが、縁あって村上桜ヶ丘高校野球部で3年間野球に打ち込みました。入学当初から1年間新潟市の実家から通っていましたが、冬の通学が厳しく、たびたび電車が運休になってしまうことあり、2年生の夏の大会の前から下宿をしていました。

卒業後は新潟医療福祉大学の健康スポーツ学科に進学し、軟式野球部で活動しました。就職してからも新潟市内の社会人チームに所属し、もっぱら週末は野球を楽しんでいます。

愛ランドあさひでは、地域の皆さんの健康増進

を図るため、さまざまな教室やイベントを開催していますが、私もスタッフの一員として、集落等へ出向いて高齢者への転倒予防や認知症予防の指導、また、学校での体育授業の補助などを行っています。

また、一昨年には、ボールや道具を使った運動の楽しさを子どもたちに知ってもらおうと、愛ランドあさひ初の試みである野球教室を、市内の園児から小学3年生までを対象に行いました。今後はもっと大規模にやりたいと考えています。

これからも、地域の皆さんがいつまでも元気で健康に過ごせるよう、健康づくりの楽しいイベントをお届けしていきたいと思ひます。

金屋小6年生が議会を体験

H30.2.22



金屋小学校6年生の児童の皆さんが、社会科の授業の一環で市役所を見学し、議場で「子ども議会」を体験しました。

児童が議長となり、「夏の暑すぎる日に集中して勉強ができるか」をテーマに、エアコンの設置や地球温暖化問題などの議論が交わされ、実際にボタン式投票も体験しました。

「商工観光課がおもしろそう」「いろいろな部署がありチームワークが強力」「議会体験がワクワクした」などの感想をいただきました。

市議会だよりが発行される頃には、中学生です。それぞれの夢に向かってがんばってほしいです。

平成30年 第2回定例会のお知らせ(予定)

| | |
|--------------------------------|-------------------------------|
| 5月29日(火) | 請願・陳情の提出期限(正午まで) |
| 6月12日(火) | 定例会初日(本会議) |
| 14日(水),15日(木) 18日(日),19日(月) | 一般質問(本会議) |
| 20日(水) | 総務文教常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会 |
| 21日(木) | 市民厚生常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会 |
| 22日(金) | 経済建設常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会 |
| 26日(火) | 一般会計予算・決算審査特別委員会 |
| 29日(金) | 定例会最終日(本会議) |

*この日程は変更されることがあります。
*開会時間は午前10時です。